

令和2年度第2回三重県医療審議会周産期医療部会 議事概要

日時：令和3年2月22日（月）19：00～20：00

形式：Web会議

議題（1）「第7次三重県医療計画」における周産期医療対策の中間見直しについて

事務局から資料1～3に沿って内容を説明

委員 去年10月までの周産期死亡率を厚生労働白書から計算してみると、三重県は2.8となっていて、全国平均が3.4なので、いい方にはなると思っている。

コロナ関係は、継続して補助が出るということか。

事務局 現在も実施させていただいている「不安を抱える妊婦への分娩前ウイルス検査事業」の関係で、来年度も国の制度を活用しながら、引き続き実施していきたいと考えている。

委員 子育て世代包括支援センターは、各市町によって温度差があり、うまく作用していないところがあるので、県から強く働きかけをしていただきたい。

委員 CDR（チャイルドデスレビュー）に関して、三重大学法医学に京都大学から先生がお見えになったので、具体的に「三重大学法医学との連携」と記載していただきたい。

事務局 部会長と相談させていただきながらでよろしいか。

委員 パブリックコメントを50件いただいたと説明があったが、そのうち資料にあるのは2件だけであり、他の意見への対応はよろしいのか。

事務局 いただいた50件のご意見に対してすべて回答させていただくが、そのうち周産期に関する2件をピックアップさせていただいた。

委員 少子化対策は非常に大事だと思うが、少子化に対応する部署はどこか。周産期医療部会で関連するのは不妊症だと思うが、相談を受けるところはどこにあるのか。高度生殖医療が専門の先生が委員となっているのか。

事務局 子ども・福祉部が中心となって少子化対策に対応している。

不妊治療に関しては、不妊治療及び相談事業の検討会を開催しており、健やか親子推進部会でも事業の評価等について検討させていただいている。不妊治療の検討会では、高度生殖医療が専門の先生が委員になっていただいている。

委員 少子化の中で、周産期と不妊は切っても切れないところだと思うので、

検討していただきたい。

事務局 医療計画自体に、不妊の話が一切ない状況である。一方で、国も不妊治療に力を入れており、今後、周産期医療として医療計画の一部に入れるべきという話になるのではないかと推測される。三重県でも第8次医療計画の策定時に、周産期医療の部分への記載を検討したほうがいいのではないかと思う。子ども・福祉部とも連携して、考えていきたい。

委員 今後、療育が重要となるが、三重県での脳性麻痺の発生率について調査したいと思っている。

委員 これも併せて追加していただくというのはどうか。

事務局 今後の検討課題としてご指摘の部分はあると思うので、考えていきたい。障がい児の施策をやっている部署は子ども・福祉部にあるので、相談したいと思う。

委員 三重県南部の過疎地域で少子化を切実に感じる。子どもが増える施策が非常に大事だと、特にコロナ禍になってから感じる。小児科、産婦人科全体でがんばって、子育てしやすく子どもが増えるような環境を整えたい。

特に里帰り出産が減っており、地域で生まれる子どもの数が20%くらい少なくなっていると思う。ぜひ、子どもが増えるということを中心に考えていただきたい。

委員 今年度、コロナ禍で助産師出向の事業ができなかったのも、来年度落ち着いたら実行していきたい。

委員 出産数が減っている、そのなかでも正常分娩が減っている、そして今年はコロナがあり、助産師教育において助産の実習ができていない状況である。助産師の育成については現場が中心だと思うので、ご協力をお願いしたい。

若い人達に子どもを産むことへの働きかけができたらと思う。

委員 少子化対策が非常に大事で、発達支援など、周りの支援体制が必要になってくると思う。在宅の支援体制も入れた方がいいのではないか。

小児医療がコロナの影響を受けている。今後も影響しそうな部分があるので、コロナ対策をしていかなければならない。

遠隔医療がだいぶ動き出しており、コロナ禍で診療報酬が時限的に整備されている。遠隔医療に移行する可能性もあるので、遠隔の診療支援体制、遠隔相談ができると、支援体制としては隔々にまでいきわたるのではないか。

委員 産婦人科においては、去年の4～5月あたりの妊娠届の受理数が極端に減った。その影響が12～1月あたりでかなり出ている。その後はある

程度もとに戻ってはいるが、コロナの第3波が相当長引いたので、医療上も少子化対策上も非常に厳しいというのを念頭においてほしい。

助産師の実習で、例年は直接介助10例だったのが、コロナのために直接介助5例、間接介助5例でよくなり、実習を見るのが楽になったので、今年も同じ状態を続けていただきたい。

委員 総務省から2040、50年の三重県内の市町の人口配置の予想が出ている。それを見据えた小児科、産婦人科の体制を今から予想して作っていくべきだと思う。

委員 あとは事務局と文言を整えさせていただいて、先生方に再度見ていただきたい。